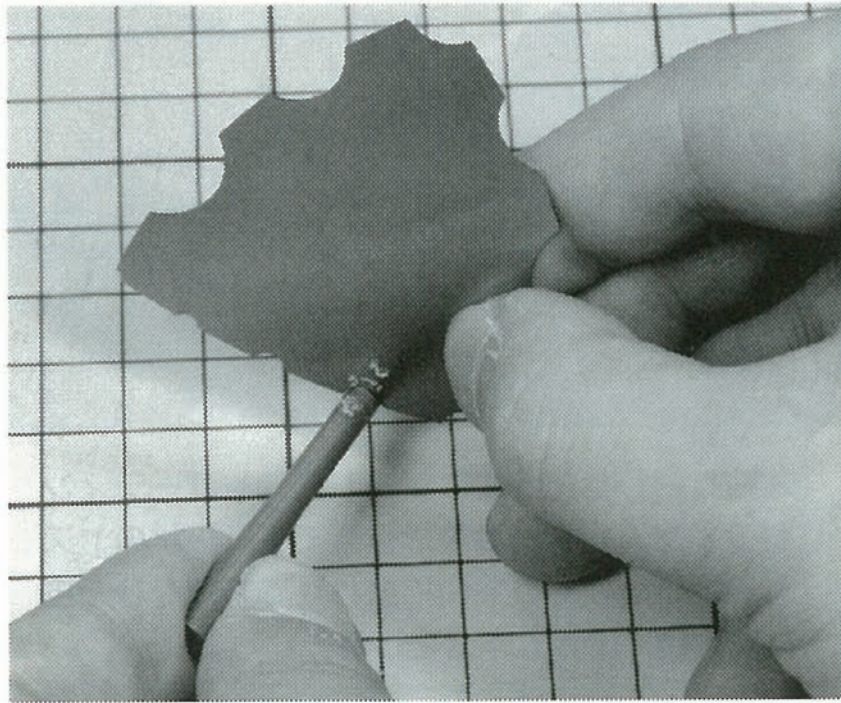


▼「Rボコ」は周囲にある凹みの部分を使い削る工具。削りたいもののサイズに合う凹み（刃付けされているのだ）をセットしてスライドさせるだけでパーティングラインや接着線が処理できる。



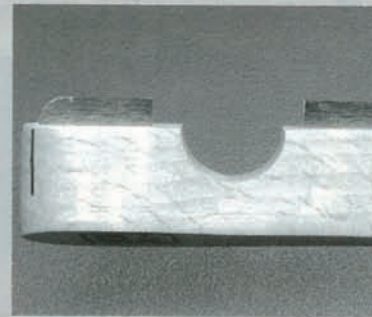
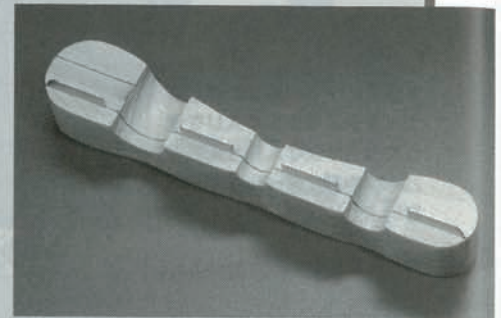
ダークホース登場!?



▲砲身の接着線処理というか、筒状のパーツ整形界のダークホース「Rボコ」。ギターを弾く時に使うピックみたいな型をしています、これがなかなかのステレモノなのです！

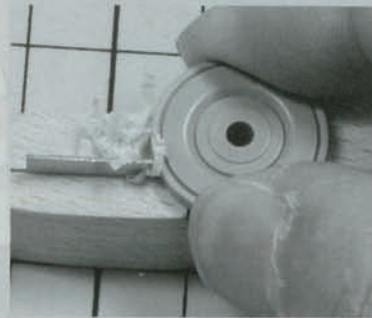
転輪整形の秘密兵器 その名も転輪君

▼まじかるホイールブレンダー「転輪君」
(税込4104円) 転輪の整形作業に特化したツール。人間工学に基づいた形状のグリップに切削用の刃が付いている。
●シモムラアレック



▲直角に取り付けられた金属部が刃になっており、ここに転輪を当てて回すことで転輪の「皮むき」ができるのだ。惜しむべきはこの刃よりも背が高い転輪は使用できないこと。

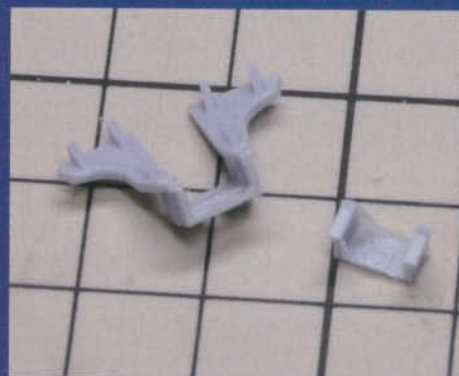
▼力を入れ過ぎると刃が立って回らなくなり、逆に力を入れないと刃が立たず空回りしてしまう。力加減は難しいが、コツを掴めば、ご覧のように大根の桂剥きのようにサクサクと整形作業が進むのだ。



▲左が整形前。右が転輪くんを使って整形した後のパーツ。中央にあったパーティングラインはキレイに消え去り、さらに角のエッジも出ている。紙ヤスリなどで整形した場合、どうしても角をなめてしまうのでエッジを出すのが難しい。



ごっついランナーは手強い! そんなときの強い味方!



▲ハイパーカットソーを使うとパーツの割れなど一切なく切断面もきれいなので、パーツに近い場所で一気に切り落とすことも可能だ。

▼コの字型のゲートはニッパーで処理すると複数回に分けて刃を入れて行かなければ簡単に割れてしまうところ……。



▼ハイパーカットソー 0.1 (税込2940円)

製品名の後ろにある数字が示すとおり、このこぎりの刃厚は0.1mmしかない。手引ののこぎりとしては世界一の薄さだというから驚きだ。クリアーパーツに使ってもその切断面は美しい。

●シモムラアレック

▲刃厚は薄くても切断力は抜群!
このような太いレジンのゲートもサクサクと刃が進み、あっという間に切り落としてしまう。